

市長コラム

～未来への架け橋～

Vol.12



早いもので今年も残すところあと1カ月となりました。本格的な冬の到来が目前に迫り、間もなく津軽地方は銀世界となります。今冬は降雪量が例年に比べ多いと予想されておりますので、市民の皆さんとともに助け合いながら、乗り切っていきたいと思っています。

★コロナで失われたコミュニティを再び取り戻すためにご協力をお願いします！

全国的に新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せ始め、当市においても新規感染者の発生がしばらく無い状況が続いています。今後は、これまでの活動自粛等によって失われたコミュニティを取り戻すことが求められます。

もちろん感染対策はしっかりと継続しなければなりません。地域社会の元気を復活させるため、地域でのコミュニティ活動や子どもたちのクラブ活動、スポーツイベントなど、さまざまな活動を再開する時期に来ているものと考えています。

各地域におられるリーダーの皆さんには、これまで自粛していた活動を再開いただくとともに、これを機に地域を元気づける新たな着想での取り組みが展開されることを願っています。

感染状況の落ち着きに伴い、私もさまざまな団体のイベントや行事に参加させていただく機会が増えています。先日は、金木老人クラブ連合会主催の「芸能発表会」に出席させていただきました。参加34団体の皆さんによる見事な歌や踊りが披露され、会場は笑顔に満ち溢れました。高齢者の皆さんの生き生きとした顔を久しぶりに拝見し、これこそが、コミュニティのあるべき姿であり、地域活性化の源泉であるとあらためて思いました。

今後は、コロナ後も見据えながら、地域の元気を再び取り戻し、人と人とのつながりの大切さ、子

もから高齢者まで互いに支え合う大切さを分かち合い、共有できる社会づくりのため、市民の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っていますので、ご協力をお願いいたします。

★稲作農家の皆さんを支援します！

新型コロナウイルスの影響による令和3年産米の大幅な価格下落と資材費高騰を受けて、当市では、稲作農家が耕作意欲を失わずに次期作に向けて稲作経営の維持に取り組むための緊急支援策として、県内でも最も積極的な支援となる10アール当たり6千円を補助単価とする助成事業を行っています。

五所川原市の基幹産業は農業であり、今般の農業者への影響は地域経済へ直結します。コロナ禍により低迷した地域経済を停滞させないためにも、稲作農家の皆さんをしっかりと支援したいと考えています。

対象の皆さんには、市から申請書等をお送りしていますので、お忘れなく申請をお願いします（今月号3ページ掲載）。

★12月より3回目のワクチン接種が始まります！

11月13日に集団による新型コロナウイルスの2回目ワクチン接種が終了し、対象者の約85%、約4万2千人がワクチンを接種しました。ワクチンの効果は時間の経過とともに徐々に低下するといわれており、国では3回目の接種を示しています。当市におきましても、来月から医療従事者等に対し3回目の接種を行います。一般の方については、まず2月に高齢者の皆さんへの接種を開始し、順次進めるとともに、市役所本庁舎での集団接種も予定しています。地域の安全・安心の確保のため、引き続きご理解とご協力をよろしくをお願いいたします。



『金木老人クラブ連合会 芸能発表会』の様子



『市役所本庁舎でのワクチン集団接種』の様子